

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
社会福祉法人 恩賜財団母子愛育会	2,3,9,10,19,26,50,51,52,53,58,60,61	「母子保健専門指導員研修会」 リプロダクティブヘルス 母子保健サービス 子育て支援 目的・内容:母子保健の課題と最新情報の修得、問題点の的確な把握及び対応能力の向上 対象:自治体勤務の保健師、助産師、看護師等母子保健関係者、～ 合計62名 開催数:3回 効果:母子保健専門指導者の育成ができた。	2,3,9,10,19,26,50,51,52,53,58,60,61	「母子保健専門指導員研修会」 リプロダクティブヘルス 母子保健サービス 子育て支援 目的・内容:母子保健の課題と最新情報の習得、問題点の的確な把握及び対応能力の向上 対象:自治体の保健師、助産師、看護師、母子保健関係者(定員50名) 開催(配布)予定数:3回
	50,51,52,53,55,67	「児童虐待 予防と発見 発見と対応」 目的・内容:児童虐待を引き起こす要因の把握と予防対策 対象: 保健師、看護師、助産師等91名 小児科医、産婦人科医等20名 開催数:2回 効果:医療、保健の現場での予防と早期発見のポイントについて習得した。	28,29,30,47,51,52,58,59	「周産期医療研修会」 目的・内容:周産期における医療、看護の基本、最新情報を講義、見学実習を通して習得する 対象:医師、助産師、看護師 開催(配布)予定数:4回

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	27	<p>「周産期における倫理を考える」                      目的・内容：医療、福祉、法律等他分野からの情報により周産期における生命倫理に関する理解を深める                      対象：医師、看護師、助産師、保健師、福祉、教育関係者 33名                      開催数：1回                      効果：周産期における生命倫理について理解し考察した。</p>	17,18,19,22,24,28,29,30,31,35,36,38,51,52,54,55,56,66	<p>・母親学級等の開催                      母親学級（妊産婦指導、妊産婦対象、4回×12コース）                      母と子のふれあい講座（育児講座、2歳児と母親対象、9回×3コース）                      夫立ち合いのための出産準備クラス（夫が出産に立ち合う夫婦のための準備講座、妊婦と夫対象、2回×30コース）                      うさぎの会（超低出生体重児のための早期介入プログラム、超低出生体重児（2～3歳児）と家族、6回）                      ビーンズの会（NICUの同窓会、当院誕生児、年1回）                      タッチケアクラス（産後の母親・家族支援、乳児と親・祖父母対象、週1回）                      マタニティーピクス（妊婦のエアロピクス教室、妊婦対象、週4回）                      アフターピクス（産後のエアロピクス教室、褥婦対象、週4回）                      ・母乳相談（母乳に関する相談・マッサージ、当院出産予定者対象）                      ・妊婦健康相談（助産師による健診・相談、当院出産予定者対象、随時）                      ・プレネイタルビジット 出産前小児保健指導事業                      ・周産期医療施設のオープン化モデル事業 産婦人科の地域医療機関との連携                      ・医師卒後臨床研修医受け入れ                      ・新人</p>
	17,18,22,24,28,29,30,47,51,52,58,59	<p>「周産期医療研修会」 医師コース 看護コース                      目的・内容：医師、看護師・助産師に対して新生児、未熟児の診断、治療、看護等の最新の理論と技術、情報を提供                      対象：周産期医療に従事している医師、看護師、助産師 医師 83名、看護師 203名                      開催数：医師コース1回 看護コース3回                      効果：産科、新生児科の医師が、または看護師が共に学習し討論することで、周産期関係者全体の資質を向上させた。これまで受講した研修生は現在全国各地の周産期医療を担っている。また周産期関係者のネットワークづくりの場ともなってきた。</p>		<p>日本子ども家庭総合研究所における研究活動                      目的・内容：子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行う。</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	17,18,22,24,28,29,30, 51,52,54,55,56,58,66	<p>各種講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母親学級;妊産婦指導・(延べ)妊産婦2,135名、48回</li> <li>・母と子のふれあい講座;育児講座(2歳児対象講座)・2歳児とその親225組、27回</li> <li>・夫立ち合いのための出産準備クラス;夫が出産に立ち合う夫婦のための準備講座・妊婦とその夫367組、60回</li> <li>・うさぎの会;超低出生体重児の早期介入プログラム・対象児と家族103組、6回</li> <li>・ビーンズの会;出生体重1000g未満児の同窓会・当院誕生の対象児と家族100組、1回</li> <li>・タッチケアクラス;産後の母親・家族支援・乳児と両親、祖父母345組、35回</li> <li>・マタニティピクス;産前のエアロピクス教室・3,162名、190回</li> <li>・アフターピクス;産後のエアロピクス教室・2,915名、287回</li> <li>母乳相談;産後の母親支援・1,221名</li> <li>妊婦健康相談;助産師による健診、相談・2,211名</li> <li>プレネイタルビジット</li> <li>周産期医療施設のオープン化モデル事業;出産前小児保健指導・10名</li> <li>医師卒後臨床研修医受け入れ;産婦人科の地域医療機関との連携・2名</li> </ul>		<p>情報提供</p> <p>目的・内容:子ども家庭福祉に関する各種情報の提供(「愛育ねっと」による情報提供を含む)「母子保健情報」の発行(年2回)</p> <p>日本子ども家庭総合研究所図書館で所蔵する子ども家庭福祉、母子保健領域の図書資料の閲覧</p> <p>対象:子ども家庭福祉関係の機関、研究者等母子保健関係の機関、研究者等希望者</p>
		<p>日本子ども家庭総合研究所における研究活動</p> <p>目的・内容:子ども家庭福祉・母子保健・虐待防止・子どもの心の問題をテーマに研究を行った。</p> <p>効果:(紀要等に成果を発表)</p>		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
		<p>情報提供            目的・内容：子ども家庭福祉・母子保健に関する各種情報収集、提供            ・ウェブサイト「愛育ねっと」            ・「母子保健情報」の発行            対象：子ども家庭福祉、母子保健関係者（機関、研究者等）            効果：日本子ども家庭総合研究所が所有している国内外の子ども家庭福祉関係及び母子保健関連の情報を提供することにより、より高度な知見が得られ厚生行政に寄与することが期待される。</p>		
全国助産師教育協議会	15.20 「妊娠、出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」ができる助産師教育の検討	<p>1. 第41回全国助産師教育協議会総会（H.17.5.20～21）            助産師教育のコア内容と卒業時の自立レベルに対するデルファイ調査の結果が報告され、妊娠期と分娩期の診断とケアの項目について報告した。            「分娩実習改善」検討会では、「大学・短大専攻科における助産師教育の実態調査報告」の考察、「助産学実習における分娩介助・継続事例実習指針」について報告した。            会場：首都大学東京健康福祉学部            対象者：全国の助産師教育関係者            参加者：会員校87校 1日目：112名 2日目：113名            開催数：1回            効果：助産学実習や分娩介助1回の取り扱い、到達状況などについての課題が明らかにされ、助産教育の充実に向けて追求していくことが認識された。</p>	15.20 助産師教育 内容の検討	<p>1. 総会の開催：委員会活動報告 2006.5.19-20            目的・内容：「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」ができる助産師教育についての検討            2. 第32回全国助産師教育協議会研修会 日程未定            目的・内容：テーマ未定、特別講演、シンポジウム開催（配布）予定数：年1回～2回            3. NEWS LETTERの発行            目的・内容：関連記事の掲載            対象：全国助産師教育関係者機関会員数 91校            個人会員数 360名            配布数：500部</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	15.20 「妊娠,出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」ができる助産師教育の検討	2. 第30回 全国助産師教育協議会研修会 2005. 5. 14～15 2. 目的:助産師の専門性を高める教育を目指して - 出産をめぐる安全性と快適さの保証と題して特別講演、シンポジウムを開催した。 会場:札幌医科大学講堂 対象者:全国の助産師教育関係者 一般 参加者:134名 開催数:1回(16年度企画) 効果:時代のニーズに対応できる助産師の育成について具体的なケア内容を含んだ教育内容や方法を探る機会となった。		
	15.20 「妊娠,出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」ができる助産師教育の検討	3. 第31回 全国助産師教育協議会研修会 2006. 3. 25～26 3. 目的:少子化における女性のケアの充実に向けて-妊娠・出産をめぐる安全性と快適さの保証・パート、と題して講演、シンポジウムを開催した。 会場:徳島大学長井記念ホール 対象者:全国の助産師教育関係者 一般 参加者:208名 開催数:1回 効果:時代のニーズに対応できる助産師の育成について具体的なケア内容を含んだ教育内容や方法を探る機会となった。		
	15.20 「妊娠,出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」ができる助産師教育の検討	4. 全国助産師教育協議会NEWS LETTER No49 2005. 11. 25 4. 関連記事助産実習施設の確保～分娩介助件数10回程度(9回)を達成するために～を掲載した。(日本赤十字九州国際看護大学 小林益江先生) 配布対象者:全国の助産師教育関係者 NEWS LETTER年4回発行 発行部数500部		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
社団法人全国保健センター連合会	18,19,35,52,54,55,56, 57,60,61,66	父親育児推進フォーラム 目的・内容:夫婦で子育てするための環境作りを推進するために、特に父親役割の重要性を広げる場として、色々な立場から父親育児を考えるフォーラムと併せて、市町村で実施されている両親学級の効果的なプログラム等を検討する 対象:市町村保健師等約70名 開催数:2回(東京都・大阪府) 効果:健やか親子21を踏まえたシンポジウムを設け、さまざまな立場からの具体的な取り組みを紹介・議論し、地域における子育て支援について熟考する場となった	18,19,52,54,55,56,57, 61,66	父親育児推進フォーラム 目的・内容:夫婦で子育てするための環境作りを推進するために、特に父親役割の重要性を広げる場として、色々な立場から父親育児を考えるフォーラムを開催する。 対象:市町村保健師等約70名 開催予定数:2回(東京都・福岡県)
	18,19,35,52,54,55,56, 57,60,61,66	父親育児参加推進事業 乳幼児の父親向けリーフレットの制作配布 目的・内容:夫婦で子育てするための環境作りを推進するために、特に父親役割の重要性を広げる場として、色々な立場から父親育児を考えるフォーラムと併せて、市町村で実施されている両親学級の効果的なプログラム等を検討する 対象:市町村保健師等約70名 開催数:2回(東京都・大阪府) 効果:健やか親子21を踏まえたシンポジウムを設け、さまざまな立場からの具体的な取り組みを紹介・議論し、地域における子育て支援について熟考する場となった	18,19,35,52,54,55,56, 57,60,61,66	乳幼児の父親向けリーフレットの制作配布 目的・内容:保健センターでの育児支援として、父親のためのパンフレットを制作配布して、育児における父親役割について知識の普及を図る。 対象:乳幼児を持つ父親配布先:市町村保健センター 開催予定数:20万部
	17,18,19,33	女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容:女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象:60名 開催数:1回3コース(東京都) 効果:女性の健康づくりについての知識やエクササイズに関する技術の修得を通じ、実践の場で理論的な説明を含めた実技指導を行うことのできる指導員を養成した。	17,18,19,33	女性の健康エクササイズセミナー 目的・内容:女性のライフステージ(思春期・不妊・妊娠・産後・更年期等)に対応した健康づくりの基礎とエクササイズを修得するための研修会を実施する。 対象:60名 開催予定数:1回3コース(東京都)

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
社団法人 日本医師会	24	平成17年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催 平成17年12月3日(土) 目的・内容:これからの産科医療を考える ・産科医療の現状と問題点開業医、勤務医の立場から ・無過失補償制度について ・産科医療の課題行政の立場から 対象:日本医師会、日本産婦人科医会会員 参加人数:187人 開催数:1回開催 効果:産科医療の抱える問題点や、無過失補償制度について、認識を深めることができた		平成18年度家族計画・母体保護法指導者講習会を開催平成18年12月2日(土) 対象:日本医師会員 日本産科婦人科医会会員 参加人数:200人を予定 開催(配布)予定数:1回開催予定
		「母体保護法指定医師の指定基準」モデル等に関する検討委員会(プロジェクト)の開催 目的・内容:「母体保護法指定医師の指定基準」モデル等の改定について検討 委員:15名 開催数:4回開催 効果:「母体保護法指定医師の指定基準」モデル等の改定について検討がなされ、報告書が作成された。		母体保護法等に関する検討委員会の開催 目的・内容:母体保護法をめぐる諸問題等について検討する予定 対象:委員
	22,44,45	乳幼児保健検討委員会を開催 目的・内容:母子保健・小児医療の充実のための具体的環境整備について検討 委員:14名 開催数:4回開催 効果:母子保健・小児医療の問題点、予防接種、小児救急医療、児童虐待等について検討がなされ、報告書が作成された。		母子保健検討委員会の開催 対象:委員 開催(配布)予定数:4回開催予定
				子ども支援日本医師会宣言 目的・内容:母と子に関する医療・保健・福祉環境の整備等を推進し、次世代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つようにする



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
(社)日本家族計画協会	25	東京都・不妊ホットライン 目的・内容:当事者による電話相談を通じ健やか親子21の推進を計る 対象:不妊に悩む当事者、治療経験者。2,006件(相談トップ3)治療への迷い・自分自身のこと・不妊への不安 効果:当事者の経験を生かしつつ、本人にしか理解できない問題(特に医療以外の悩み)の解決に至った	25	東京都不妊ホットライン 目的・内容:当事者による電話相談を通じ健やか親子21の推進を計る 対象:不妊に悩む当事者、治療経験者等 開催(配布)予定数:火曜日10時～16時(除祝日・年末年始)
	18	ママパパ学級テキスト 目的・内容:妊娠、出産、育児についての両親学級で指導するポイントを網羅した。 対象:都道府県・市区町村等の行政体、病院など。 効果:妊娠中のパートナーのケアなど、パパになる人に向けてメッセージを発信した。		
社団法人 日本看護協会	17-27	母性看護専門看護師の養成 目的・内容:複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供する。 対象:看護職で、所定の教育を修了しており、必要な実務経験がある者 効果:母性看護分野において能力を発揮できるようになった。	18	研修会「妊産婦の主体性を引き出すファシリテーターの役割」の開催 目的・内容:母親学級などの教育・運営・ケア提供、資源に関する情報活用、他職種との協働、専門職としての自律と責務等を学ぶ。 対象:看護職 定員100名 開催(配布)予定数:3日×2回
	18	研修会「妊産婦の主体性を引き出すファシリテーターの役割」の開催 目的・内容:母親学級などの教育・運営・ケア提供・資源に関する情報活用・他職種との協働・専門職としての自律と責務・母親学級などの企画・運営 対象:看護職(50人×2回) 開催数:3日×2回 効果:研修参加者に普及啓発することができた。	18	研修会「フリースタイル出産の援助技術」の開催 目的・内容:妊娠・出産における看護の役割、お産におけるEBM、病院・施設におけるアクティブパース・フリースタイル出産、専門職としての自律と責務等を学び、フリースタイル出産の援助方法を演習する。 対象:看護職 定員100名 開催(配布)予定数:2日×2回



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
	18	研修会「フリースタイル出産の援助技術」の開催 目的・内容：妊娠、出産における看護の役割・お産におけるEBM・病院、施設におけるアクティブパース、フリースタイル出産・治療的関係・専門職としての自立と責務 対象：看護職（50人×2回） 開催数：2日×2回 効果：研修参加者に普及啓発することができた。	22	研修会「先天異常をめぐる周産期看護」の開催 目的・内容：先天異常と出生前診断、先天異常に関わる倫理、カウンセリング、胎児診断と治療のあり方、サポートシステム等を学ぶ。 対象：看護職 定員120名 開催（配布）予定数：2日×1回
	18	研修会「先天異常をめぐる周産期看護」の開催 目的・内容：実践における説明責任と自己の役割・倫理的実践・実践を裏付ける関係法規・母性看護領域のケア提供に関わる主要理論とその活用/治療と看護の知識・ケア提供資源に関する情報活用・母親学級などの教育と運営・他職種との協働/専門職としての自律と責務・EBNを用いた看護実践・基準・ガイドラインの活用 対象：看護職（50人） 開催数：3日×1回 効果：研修参加者に普及啓発することができた。	22	日本看護学会「母性看護分野」 目的・内容： ・特別講演「母性における世代間伝達の光と影」 ・教育講演「助産師が行うフィジカルエグザミネーション」 ・交流セッション「アロマセラピーとお産に必要な精油」 ・シンポジウム「今、助産師の本領を發揮しよう」 対象：看護職 定員1,000名 開催（配布）予定数：2日×1回
	22	不妊看護認定看護師の育成 目的・内容：施設において、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う能力を育成。 対象：看護職で、必要な実務経験があり、認定看護師教育課程を修了している者 効果：不妊看護分野において能力を發揮することができるようになった。	22	母性看護専門看護師の育成 目的・内容：複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供する。 対象：看護職で、所定の教育を修了しており、必要な実務経験がある者
	22	「安全なお産を保証する助産体制のあり方に関する要望書」の提出 厚生労働省に対し、助産師の有効活用、助産師確保対策の促進を要求。 対象：厚生労働省 開催数：1回（10月）	26	研修会「生殖医療と不妊看護」の開催 目的・内容：生殖医療の現状と基礎知識、不妊患者への具体的支援等を学ぶ。 対象：看護職 定員120名 開催（配布）予定数：3日×1回

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	24	院内助産院の推進 目的・内容：冊子「病院・診療所における助産師の働き方」の作成 上記冊子普及のための研修会の開催 対象：助産師 助産師、関連団体 開催(配布)数：11,000部 1日×1回 効果：病院・診療所における助産師の働き方を明らかにすることができた。 助産師が自立して助産ケアを行う体制づくりの参考となった。	26	不妊看護認定看護師の育成 目的・内容：施設において、不妊の問題を抱えたカップルに対して適切なアセスメントを行い、全人的なケアを実施し、その卓越した実践能力を基盤として、他の看護職に対する相談・指導を担う能力を育成する。 対象：看護職で、必要な実務経験があり、認定看護師教育課程を修了している者
				「まちの保健室」活動の推進 目的・内容：「まちの保健室」における子育て支援や思春期相談等を推進する 対象：「まちの保健室」に関わる看護職 開催(配布)予定数：通年
				「看護の日」における全国イベント 目的・内容：子育て相談、父親・母親教室等 対象：一般 開催(配布)予定数：1日×47都道府県
日本小児保健協会		第52回日本小児保健学会学術集会小児保健に関するシンポ、ワークショップ、教育講演、特別講演、一般演題など 目的・内容：「健全な社会に向けての小児保健」をメインテーマとして小児保健の知識の普及と啓蒙 対象：医師、保健師、看護師、助産師、保育士、心理、栄養、教師など参加：1600名 開催(配布)数：年1回開催学術講演集2000部 効果：症保健の啓蒙と普及		小児保健協会支部研究会並びに講演会 目的・内容：小児保健関係者、一般住民 対象：全国47都道府県支部において毎年1 - 2回開催 毎回：60 - 300名 参加

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
		<p>小児保健学会誌部研究会並びに講演会            目的・内容:健やか親子21 に関係するテーマで開催            対象:医師、保健師、看護師、助産師、保育士、心理、栄養、教師など1回:60 - 300名参加            開催(配布)数:全国47都道府県支部において年1 - 2回開催            効果:到達目標の達成に寄与</p>		
日本助産学会	18,24,14	<p>研究助成            目的・内容:            ・委託研究「ケトン体と体組成を用いた妊婦の栄養・体重管理指針の検討」            ・奨励研究「助産実践能力の比較 - 学部4年次教育課程と大学院修士課程において -」            「10代妊婦の周産期における支援に関する研究」            対象:助産師助成規模:委託研究助成:1件 学術奨励研究助成:2件            開催(配布)数:1回            効果:妊娠期における栄養・体重管理への支援に向けたEBMとすることができた。助産師の資質向上の為の教育方法の検討をすることができた。            10代妊婦の周産期における支援に関する知見が得られた。</p>	2,3,9,10,14,15,17-27	<p>研究助成            目的・内容:わが国の助産学と母子保健の発展を図ることを目的に毎年学術奨励研究ならびに委託研究助成を行い、その成果を研究終了後広く公表している。委託研究については「健やか親子21」の課題1、2に関連した研究課題について公募する。            対象:助産師 学術奨励研究助成 2件 委託研究助成 2件            開催(配布)予定数:1回</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	17,18,19,23,24,26,23,9,10	<p>第20回日本助産学会学術集会            目的・内容：＜メインテーマ＞「チームで育つ助産のチカラ」会長講演 福井トシ子特別講演「揺れる家族」教育講演「周産期の紛争防止・紛争解決 対話による取り組み」「チームでケアを提供するということ」その他、シンポジウム、ワークショップ(3題)、交流セッション、ランチョンセミナー、一般演題(第1課題に関連する演題5題、第2課題に関連する演題108題、計113題)            対象：＜参加者数・2日間＞学会員529名、非学会員359名、一般168名、学生44名、合計1100名            開催(配布)数：1回開催＜開催日・場所＞平成18年3月4日・5日東京ビッグサイト            効果：「チームで育つ助産のチカラ」のメインテーマを切り口として、周産期の紛争防止・紛争解決、周産期のリスクコミュニケーション、院内助産院システム、助産師の現任教育、周産期の看取りのケア等について講演、シンポジウム、ワークショップが行われた。一般演題では第1課題「思春期の保健」および第2課題に関する発表と討論が行われた</p>	17-27,2,3,9,10,14,15	<p>第21回日本助産学会学術集会            目的・内容：＜メインテーマ＞求められる助産師の自律 - 地域の連携のもとで -            ＜学術集会長＞宮崎文子氏(大分県立看護科学大学)会長講演「求められる助産師の自律」、特別講演「アフリカの助産師の自律」、教育講演「思春期心身医学から見た子育て」、基調講演、シンポジウム、ワークショップの他、一般講演を企画している。            対象：助産師            開催日：平成19年3月10日(土)・11日(日)会場：ビーコンプラザ(別府市)</p>
	24	<p>第1回国際助産協働セミナー開催            目的・内容：＜講演＞「ネパール女性の妊娠・出産・育児における意思決定」松山章子(長崎大学教授・国際連携研究戦略本部・熱帯医学研究所兼任)            対象：助産師他参加者24名            開催(配布)数：1回開催 平成18年2月28日聖路加看護大学            効果：JICAで長らく活動された講師による講演であり、方法的・人類学の視点から多くの示唆が得られた。</p>	24	<p>第2回国際助産協働セミナーin 長崎開催「助産と国際協力」            目的・内容：国際協力における助産の役割を国際協力関係者と共有することを目的としている。第47回日本熱帯医学会・第21回日本国際保健医療学会大会のサテライト集会として実施            セミナー内容：世界のsafe motherhoodの動向と日本の課題(国井修氏) Safe motherhoodの評価の方法(松山章子氏) シンポジウム「出産ケアと国際協力」            対象：助産師 国際保健協力に関心のある方            開催日：平成18年10月14日9時半から16時まで            会場：長崎大学</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	17,18,22,23,24	<p>助産所業務の安全管理 「助産業務ガイドライン」の実践的な活用</p> <p>目的・内容:                      1.「妊産婦管理記録」については、平成16年度に作成した「妊産婦管理記録」用紙を、FDにして作成し日本助産師会に開業助産所への啓蒙を依頼する。                      2.「助産業務ガイドライン」で標準化されている「搬送時の対応と報告」の実態についてプレテストを21箇所助産所を選択し了解を得て実施した。その実態調査の結果を日本助産師会に報告した。</p> <p>対象:助産婦                      開催(配布)数:12月末に調査用紙を郵送し、1月末段階で9箇所からの回答があり現在回収を継続中である。                      効果:助産所業務の安全管理「助産業務ガイドライン」の実践的な活用について検討した。</p>	14,18,24	<p>研修会</p> <p>目的・内容:日本助産学会委託研究ならびに成果の公表および研究の推進のための研修を行う</p> <p>対象:助産師、一般、学生                      開催日:平成18年9月 会場:東京</p>
	18,24	<p>20周年記念式典</p> <p>目的・内容:                      ・記念講演ヘレン・バーニー(エール大学名誉教授)「アメリカの看護助産師の制度と専門職団体の創設と変遷」                      ・講演平澤美恵子「20周年の学会の歩み」                      ・記念論文の表彰 3編「女性に優しい助産ケア:会陰切開の適応を再考する」「死産で子どもを亡くした母親達の視点から見たケアニーズ」「生後1か月から1年までの乳児の泣きに対する母親の情動作業に関する縦断的研究」</p> <p>対象:助産師                      開催(配布)数:&lt;開催日・場所&gt;平成18年3月4日・5日東京ビッグサイト</p> <p>効果:記念講演では、アメリカの看護助産師の制度と専門職団体の創設の歴史について話された。看護師であり、助産師であるという、ふたつの異なる専門性に属していることを切り口に、日米共通の課題であること、質の高いケアを提供するために、助産の専門性を保つ必要があり、その為には免許と認定、教育やカリキュラム、実践のスタンダードを設定することが重要であると説明された。</p>	17-27,2,3,9,10,14,15	<p>ワークショップ・フォーラム開催</p> <p>目的・内容:「健やか親子21」の目標達成に向けた企画を計画する予定である。</p> <p>対象:助産師、医療関係者、一般、学生                      開催(配布)予定数:詳細は本学会ホームページ、学会誌、ニューズレター等で広報、情報提供を行う。</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
社団法人日本助産師会	17,18,19,22,23,24,26	<p>1. 助産所業務ガイドラインの普及</p> <p>2. 「医療事故防止に向けて」 研修会開催</p> <p>3. 出産の安全性と快適性に向けた研修会を開催</p> <p>4. 無料電話相談を実施</p> <p>目的・内容:</p> <p>1. 助産所業務ガイドラインを、研修会、セミナー等助産師が集会する場所において広報し、周知を図った。</p> <p>2. テーマに沿った研修会を企画・実施した。電話相談では、女性の健康に関わる相談も実施した。</p> <p>3. 助産所の自己点検評価を実施した。</p> <p>対象: 助産師、一般の女性</p> <p>開催(配布)数: 研修会は述べ30講座を企画・運営した。(鹿児島県、徳島県、福岡県、兵庫県、広島県、大阪府、愛知県、福井県、和歌山県、静岡県、東京都、福島県、山形県、) 電話相談は、47都道府県で実施した</p> <p>効果: 助産所業務ガイドラインは、開業助産師のみならず、勤務助産師への普及も努めたので、会員への普及は進んだと思われる。研修会開催が、広域に渡ってきたが、研修会開催地の重要性も更に認識した。自己点検を行うことで、助産所の安全性に向けた意識が高まった。</p>	17,18,19,22,23,24,26	<p>1. 取り組みテーマに沿った研修会を企画・実施する。</p> <p>2. 不妊相談認定助産師研修開始に向けての準備目的・内容: 助産所業務ガイドラインの周知・徹底を図りながら、安全と快適性の確保に向けた研修会を企画・運営する。また、不妊相談認定助産師研修の本年度中開始を目指す。助産所の安全正確保の上からも、助産所の他己評価をモデル的に実施する。</p> <p>対象: 助産師 他己評価実施施設3ヶ所</p> <p>開催(配布) 予定数: 取り組みテーマに沿った研修会を13講座企画している。</p>
日本赤十字社	24	<p>助産師養成</p> <p>目的・内容: 助産師の確保及び育成のため。</p> <p>対象: 助産師を志す学生(平成17年度は67名受験で67名合格。)</p> <p>開催(配布)数: 助産師学校及び赤十字学園管轄下3大学・1短大にて運営。</p>	24	<p>助産師養成</p> <p>目的・内容: 助産師の確保及び育成のため。</p> <p>対象: 助産師を志す学生</p> <p>開催(配布) 予定数: 助産師学校及び赤十字学園管轄下3大学・1短大にて運営。</p>
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	<p>総合周産期母子医療センター</p> <p>目的・内容: 周産期医療の充実のため</p> <p>対象: 患者及びそのご家族</p> <p>開催(配布)数: 全国で8赤十字医療施設にて設置</p>	17,18,22,28,29,30,31,42,59	<p>総合周産期母子医療センター</p> <p>目的・内容: 周産期医療の充実のため</p> <p>対象: 患者及びそのご家族</p> <p>開催(配布) 予定数: 全国で8赤十字医療施設にて設置。</p>



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で11赤十字医療施設にて設置。	17,18,22,28,29,30,31,42,59	地域周産期母子医療センター 目的・内容:周産期医療の充実のため 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で11赤十字医療施設にて設置
	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容:妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で56赤十字医療施設にて実施	17,18,19,35,36	妊産婦健康相談の実施 目的・内容:妊産婦の健康管理体制の醸成のため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で56赤十字医療施設にて実施。
	17,18,28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	母親学級の開催 目的・内容:妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)数:全国で69赤十字医療施設にて実施。	17,18,28,30,31,32,33,35,36,42,52,54,58	母親学級の開催 目的・内容:妊産婦の出産・育児に関する学習会の場を提供するため。 対象:患者及びそのご家族 開催(配布)予定数:全国で69赤十字医療施設にて実施
日本母性衛生学会	17,18	第46回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「戦後の医療改革とお産の変化」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)数:1回開催(宮崎県) 効果:お産の近代化と医療化の流れの中で、助産師の実践と重要性に着目し、今後を展望する一助となった。	19	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:教育講演「身近に起こる心の病、うつ病 - 女性の5人に1人はうつ病を経験する - 」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数:1回開催(愛知県)



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	18	第46回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容：ワークショップ1「異文化のお産に学ぶ」 (1)あかちゃんとおかあさんにやさしい分娩をめざして(2)出産の2つのモデル - インドネシアの出産を例に(3)インドネシアの家族・母親から学んだこと(4)助産文化と正常産 伝えよう、受け継ごう、「正常産」の多様性と豊かさを！ 対象：医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)数：1回開催(宮崎県) 効果：日本、インドネシア、イギリスでの出産、家族、助産の考え方や実際を知り、そのあり方を考える機会となった。	17	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容：教育講演「母体死亡」 対象：医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数：1回開催(愛知県)
	18,22,24	第46回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容：ワークショップ2「今、求められる助産師の役割」(1)女性の求める助産ケア(2)今、求められている助産師の役割(3)産科医からみた助産師の役割 対象：医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)数：1回開催(宮崎県) 効果：女性、助産師、産婦人科医の立場からそれぞれの求める助産師の役割が発表され、妊産婦と家族に寄り添う助産のあり方を展望することができた。	24	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容：シンポジウム「少子化時代の周産期人材育成」 対象：医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数：1回開催(愛知県)
	22,24	第46回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容：理事長講演「周産期における各職種の連携」 対象：医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)数：1回開催(宮崎県) 効果：周産期医療における各職種間の連携のあり方を考える契機となった。	22	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容：シンポジウム「産科の病診連携 - オープン・セミオープンシステム、その現状と展望 -」 対象：医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数：1回開催(愛知県)

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	24	第46回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:会長講演「産婦人科医の卒後教育と地域医療」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)数:1回開催(宮崎県) 効果:周産期医療を支える産婦人科医の卒後教育について認識を高めることができた。	22,28,30	第47回日本母性衛生学会学術集会 目的・内容:シンポジウム「産科病棟・NICUのリスクマネジメント」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約2000名 開催(配布)予定数:1回開催(愛知県)
	17,22	第35回北海道母性衛生学会学術講演会 目的・内容:特別講演「産科医療における安全対策」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約300名 開催(配布)数:1回開催(北海道) 効果:産科医療における安全対策について認識を高めることができた。		
	18,19	第22回石川県母性衛生学会学術集会、第20回北陸母性衛生学会学術集会 目的・内容:特別講演「周産期のメンタルヘルス」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約300名 開催(配布)数:1回開催(石川県) 効果:周産期のメンタルヘルスについて認識を高めることができた。		
	18,19	第9回佐賀母性衛生学会学術集会 目的・内容:特別講演「妊産婦のメンタルヘルス - 医療・保健スタッフによる支援のあり方 -」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約300名 開催(配布)数:1回開催(佐賀県) 効果:妊産婦のメンタルヘルスに対する医療・保健スタッフによる支援のあり方について認識を高めることができた。		
	17	第20回奈良県母性衛生学会学術講演会 目的・内容:招請講演「助産師も訴えられる医療訴訟事案からみた、安全かつ快適な分娩とは」 対象:医師、助産師、看護師、保健師等 約300名 開催(配布)数:1回開催(奈良県) 効果:助産師も訴えられる医療訴訟事案からみた、安全かつ快適な分娩について認識を高めることができた。		

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	25,26,27	第18回長崎県母性衛生学会学術集会 目的・内容：研修プログラム「高度生殖医療における患者ケアを考える」(1)不妊治療について - 高度生殖医療を中心に - (2)患者の自己決定を支えるカウンセリング - IVFコーディネーターの立場から - 対象：医師、助産師、看護師、保健師等 約300名 開催（配布）数：1回開催（長崎県） 効果：不妊治療および患者の自己決定を支えるカウンセリングについて知り、高度生殖医療における患者ケアについて認識を高めることができた。		
	19	第18回鹿児島母性衛生学会 目的・内容：特別講演「妊産婦のメンタルヘルスへの新しいとりくみ」 対象：医師、助産師、看護師、保健師等 約300名 開催（配布）数：1回開催（鹿児島） 効果：妊産婦のメンタルヘルスへの新しいとりくみについて認識を高めることができた。		
社団法人日本産婦人科医会	17	全国妊産婦死亡実態調査を実施し、経年的な傾向の変化を検討した。さらに問題点を抽出し妊産婦死亡率の減少に向けた啓発活動を行った。 対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員) 効果：産婦人科医に注意をうながした。	17	全国妊産婦死亡実態調査を継続し、経年的な傾向の変化を検討する。また、厚生労働省の協力を仰ぎ、全国統計を集積するよう努力する。 対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	18	課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動推進を協議した。「健やか親子21」中間評価報告書を支部に送付し周知に努めた。 効果：運動推進ができた。	18	課題2「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援」の幹事団体として運動を推進する。

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	18	平成17年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「妊娠・出産の快適性確保のための諸問題の研究」の分担研究として「バースプラン普及のための産科医師の意識調査」の中で、「快適性」について、産科医師たちがどのように解釈し、医療を実践しているかを把握するため、昨年度行った「分娩の快適性確保」に関する調査について解析し報告書をまとめた。 対象：日本産婦人科医会定点モニター778施設 効果：産科医達も分娩の快適性確保に努力している現況が明らかになったとともに、未だ、快適性の意義が十分、理解されずに行われている現況も明らかとなった。	18	厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「妊娠・出産の快適性確保のための諸問題の研究」をもとに、分娩の安全性を損なうことのない快適性の研究を推進する。
	18	「分娩の安全性」に関して、病診連携、病病連携と共に助産所と医療とのネットワーク作成等について、健やか親子21推進協議会・課題2幹事会を通じて継続的な協議を行った。	18	厚生労働科学研究医療技術評価総合研究事業「産科領域における医療事故の解析と予防対策」（中林班）に参加し、安全な分娩環境の整備のため研究を行う。
	18	出生前小児保健指導（プレネイタル・ビジット）事業について、日本小児科医会と意見交換会を行った。また、各都道府県支部での実施状況、指導要項等について検討を行った。 対象：日本産婦人科医会日本小児科医会 開催（配布）数：2回	18	出生前小児保健指導（プレネイタルビジット）事業に関して、日本小児科医会と継続した話し合いを持ちながら、各支部での活動状況の実態を調査し、有効な活動方法を継続して検討する。

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	18	<p>パンフレット「新生児聴覚スクリーニング検査のご案内」</p> <p>目的・内容：厚生労働科学研究「新生児聴覚スクリーニングの効率的実施および早期支援とその評価に関する研究」班に参加し、全国的な新生児聴覚スクリーニング検査に関する実態調査を行った。研究班が作成した新生児聴覚スクリーニング検査パンフレットを全国支部を通じ配布し周知に努めた。また、本会HP上で日本耳鼻咽喉科学会がまとめた新生児聴覚スクリーニング後の精密聴力検査施設リストへのリンクを行った。</p> <p>対象： [調査]本会会員定点モニター及び大学病院1088施設 [パンフレット配布]都道府県支部を通じ、本会会員へ配付した。 [精密聴力検査施設リスト]一般</p> <p>効果： [調査]平成14年度調査実施時と今回との比較で、検査実施率が26% 47%に増加した。 [パンフレット配布]支部より要望があり、周知の効果がみられた。 [精密聴力検査施設リスト]一般市民に対して情報を公開し利用が可能となった。</p>	18	全国的な新生児聴覚スクリーニング検査の実態アンケート調査の解析を行うとともに、継続して厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「新生児聴覚スクリーニングの効率的実施および早期支援とその評価に関する研究」に参加し協力する。
	18	<p>産婦人科偶発事例報告事業の実施及び妊娠・分娩の事例も集積と解析を行い、会員への周知に努めた。</p> <p>対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)</p>	18	産婦人科偶発事例報告事業の実施及び妊娠・分娩の事例も集積と解析を行い、会員への周知に努める。 対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	18,26	<p>平成13年度からの継続事業として行っている厚生労働省雇用均等・児童家庭局長から委託された、母性健康管理に関する電話または面接による相談事業を実施した。</p> <p>対象： ・労働者数50名未満の事業所で働く事業主および女性労働者 ・日本産婦人科医会都道府県47支部で実施。</p> <p>効果：年間300件ほどの利用があった。</p>	19	<p>妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎゃー献金基金」ホームページに継続掲載する。(日産婦医会ホームページにリンク)</p> <p>対象：一般</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
	18,19	妊婦・産褥婦のメンタルケアの対応可能な「妊娠・育児に関するカウンセリング機関」を日産婦医会関連団体である「日母おぎゃー献金基金」ホームページに掲載した。(日産婦医会ホームページにリンク) 対象：一般 効果：妊産婦に対し、情報として利用できるシステムを整備した。	21	「母性健康管理指導事項連絡カード」について、ホームページに掲載し継続して啓発に努める。 対象：一般
	21	「母性健康管理指導事項連絡カード」について、ホームページに掲載し周知と普及の啓発に努めた。 効果：普及を期待している。	22,24	産科若手医師の確保・育成のため、(セミ)オープンシステムの意義を模索し、検討を行う。 対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	22	新たな産婦人科医療システムとして、(セミ)オープンシステムや医療の集約化等の検討を継続して行った。 効果：医会会員に対して、概念を周知した。	22	「分娩の安全性」に関して、病診連携、病病連携と共に助産所と医療とのネットワークの完成に向けて各種情報を収集する。 対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)
	22,24	新生児蘇生技術の習得に向けNeonatal Resuscitation Program(NRP) について、厚生労働科学研究子ども家庭総合研究事業「小児科医・一般産科医・助産師・看護師向けの新生児心配蘇生法の研修プログラムの作成と研修システムの構築とその効果に関する研究班」の調査協力依頼を受け、アンケート調査等の協力を行った。	22	NICUに関する実態調査をまとめ、対外広報に努めるとともに、行政に対して後方支援システム(施設)の早期構築の実現にむけて活動する。
	22	NICUベッド稼働率の低下の問題や、NICU長期入院児をかかえる家族の育児負担、精神的負担、経済的負担も社会的問題化していることから、全国主要NICUの長期入院患者の実態調査結果をまとめ、NICU後方支援システム(施設)設立へ向け、本会、日本医師会、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本小児科学会、日本未熟児新生児学会、新生児医療連絡会の7団体連名で厚生労働大臣に対して要望書を提出した。また、日本周産期・新生児医学会において発表を行い、「全国NICUにおける長期入院例の検討」として抄録をまとめた。 効果：行政等に対しNICU後方支援システム(施設)設立へ向け、実現が期待できる。	22	新生児蘇生技術の習得に向けNeonatal Resuscitation Program(NRP) について資料を集め推進に向けて検討する。なお、厚生労働科学研究「発達期に発生する外因性脳障害の診断・治療ガイドラインに関する臨床的・実証的研究」にアンケート調査等の協力を行っていく。 対象：産婦人科医師(日本産婦人科医会会員)



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	22	総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センター設置の推進のため、現在設置数の把握及びホームページに掲載し周知に努めた。	22	総合周産期母子医療センター等設置の推進。地域毎の充足率の把握を行う。
	22	厚生労働科学研究医療技術評価総合研究事業「産科領域における医療事故の解析と予防対策」に参加し、都道府県支部長推薦の診療所・個人病院に対し、「妊娠リスクスコア」の適応評価に関する調査を行った。	22	周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努める。（会長は昭和大学岡井教授、世話人として朝倉、田中両常務理事が参加。）
	24	助産師の不足や偏在等のデータ収集を目的に全国産婦人科医療施設を対象として「助産師の適正配置に関する調査」及び「助産師充足状況緊急実態調査」を実施した。	22,24	産科医師マンパワー不足解消のため、(セミ)オープンシステムや産科医療集約化の意義を引き続き模索し、実効性のある推進に向けて努力する。
	22	周産期の児の予後を改善する目的で、早産予防に関する多施設前向き研究を継続し児の周産期予後の改善点の把握に努めた。（会長は昭和大学岡井教授、世話人として朝倉、田中両常務理事が参加。）	25	不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握に努める。
	25	不妊専門相談センター設置の推進のため、現在設置数の把握及びホームページに掲載し周知に努めた。 効果：一般市民に対して情報を公開し利用が可能となった。		
日本母乳の会	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第14回母乳育児シンポジウム岡山実行委員会 目的・内容：中四国地方の実行委員によるシンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回開催 対象：参加人数：40～50名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、臨床心理士、母親、その他 開催（配布）数：6回 効果：多くの方と論議をしながら、シンポジウムを作り上げていくので、中四国地区の母乳育児が広がっていく	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第15回母乳育児シンポジウム東京実行委員会 目的・内容：関東地区の実行委員会で母乳育児の状況シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回開催。 対象：参加人数：1回40～50名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母親、その他延べ約300名 開催（配布）予定数：開催は6回



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第15回母乳育児シンポジウム東京実行委員会 目的・内容：関東地方の実行委員によるシンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回開催 対象：参加人数：40 50名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母親、その他 開催（配布）数：6回 効果：関東地区の母乳に取り組む施設の広がり	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第16回母乳育児シンポジウム富山実行委員会 目的・内容：富山地区での実行委員会開催、母乳育児、シンポジウムのテーマ、講演者、内容等、論議。月1回開催。 対象：参加人数：1回40 50名、産科医、小児科医、助産師看護師、保健師、母子保健推進委員、母親、その他延べ約300名 開催（配布）予定数：開催は6回
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第14回母乳育児シンポジウムの開催 目的・内容：特別講演 堀内 勁 聖マリアンナ医科大学小児科学教室教授「赤ちゃんとお母さんの別れと出会い - 母乳育児」、基調講演 山内芳忠 国立病院機構岡山医療センター臨床研究部長・小児科「母乳育児運動ー過去に学び、未来への橋渡し」、シンポジウム1「今、医療施設に求められる入院中の母乳育児確立への支援」、シンポジウム2「どうのりきる？おっばいのピンチ！ - ちょっとじゃましてませんか？」母乳育児継続の工夫・子育て交流会「だからおっばい だけとおっばい」 対象：参加人数：1300名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 効果：母子同室・母乳育児推進、母親たちと医療者たちの交流が行われ、子育て支援が行われた	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第15回母乳育児シンポジウムの開催 目的・内容：特別講演：中村 桂子 JT生命誌館長 「「生きている」を見つめ「生きる」を考える」 基調講演：杉本 充弘 日赤医療センター産婦人科部長「産科医療と母乳育児」 シンポジウム1「母乳育児成功のための10カ条 お母さんの気持ちを育むために」 シンポジウム2「母乳育児を続けるために 母子の環境を考える」 「母乳育児にやさしい社会をめざして」 母乳育児をみんなで語ろう 母乳育児をすすめるための東京宣言 対象：参加人数：1500名(産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母親、父親等) 開催（配布）予定数：1回
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第14回母乳育児シンポジウム・ポスター 目的・内容：全国産科施設に配布し、掲示を依頼 対象：西日本を中心とした産科施設に配布 開催（配布）数：2000枚 効果：産科関係者に告知できた	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第15回母乳育児シンポジウムポスター 目的・内容：広くシンポジウムを知らせ、参加を呼びかえる。 対象：関東を中心とした産科施設・保健センターに配布 開催（配布）予定数：2000枚
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第14回母乳育児シンポジウム・チラシ 目的・内容：岡山を中心に中四国の母親向けの案内 対象：保健センター、子育て支援センター、産科施設で配布 開催（配布）数：5000枚	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第15回母乳育児シンポジウム交流会向けチラシ 目的・内容：母親、市民にシンポジウム交流会への参加の呼びかけ 対象：母親、市民、医療者保健センター、子育て支援センター 開催（配布）予定数：5000枚

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第5回、第6回、第7回ワークショップの開催 目的・内容:母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 対象:約80名、母乳育児を進める施設の指導者、及び実践スタッフ 開催(配布)数:3回 効果:青森地区で青森母乳の会ができ、母乳育児の広がりが見られた。千葉地区の母乳育児の広がりが期待される。参加者が職場にもどり、母乳育児推進を中心的に担うようになっている	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	第8回、第9回ワークショップ 目的・内容:母乳育児の理解を深めるために、医療者の少人数によるワークショップ 対象:母乳育児を進める施設の指導者、及び実践スタッフ各80名、述べ160名 開催(配布)予定数:開催は2回 第8回宮崎開催11月18,19日
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的・内容:13施設申請、書類審査、現地調査を経て、認定6施設(旭川医科大学附属病院、山形市立病院済生館、東北公済病院、済生会高岡病院、加古川市民病院、吉野産婦人科医院)が認定される 対象:母乳育児成功のための10カ条を実践し、BFH認定申請の施設 開催(配布)数:現地調査、7箇所、延べ31人 効果:母乳育児推進の地域的な中心ができた。とりわけ教育施設である旭川医科大学病院の認定は、今後の母乳教育に大きな影響を及ぼす。また、子育て支援を妊娠中から始め、地域の子育て支援の核となった。	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	「赤ちゃんにやさしい病院・BFH」認定業務 目的・内容:13施設申請、書類審査 対象:7施設の現地調査 開催(配布)予定数:現地調査延べ34名
	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	BFH施設での母親満足度調査 目的・内容:厚生科学研究として、BFH施設で出産した母親たちの意識、産後うつ調査 対象:大規模病院のBFH20施設で出産した母親たちの1、3、6ヵ月時の満足度調査 効果:母子同室、母乳育児が子育て支援の中核であること、産後うつが少ないことがわかった	18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	全国BFH会議 目的・内容:40施設のBFHが集まり、問題点や今後の母乳育児推進についての話し合い 対象:BFH施設の責任者、産科、小児科、助産師 開催(配布)予定数:1回、約120名

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的・内容：地域の母乳の会後援、講師派遣、母親たちへの支援 対象：産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、保育士、母親、一般市民 開催（配布）数：30回 効果：地域で母乳育児を推進している医療関係者の知識があがった。母親の育児支援となった。	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	BFH施設での母親満足度調査 目的・内容：厚生科学研究として、BFH施設で出産した母親たちの意識、産後うつ調査 対象：開業産婦人科BFH20施設で出産した母親たち
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	BFH認定申請希望病院への講演・研修会 目的・内容：BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定申請の増加 対象：産科施設の産科医、小児科、助産師、看護師他スタッフ 開催（配布）数：未定 効果：BFH認定申請がされた	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	各地の母乳の会、および、母親グループへの講師派遣や支援 目的・内容：地域の母乳の会後援、講師派遣、母親たちへの支援 対象：産科医、小児科医、助産師、看護師、保健師、母子保健推進委員、母親、その他約5000人 開催（配布）予定数：各地30回
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第12回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的・内容：シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売シンポジウム参加者の増加 対象：産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 開催（配布）数：1800部 効果：母乳育児への理解が深まった	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	BFH認定申請希望病院への講演・研修会 目的・内容：BFH認定のための院内スタッフの研修、BFH認定申請の増加 対象：産科施設の産科医、小児科、助産師、看護師他スタッフ約300人 開催（配布）予定数：未定
	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	「WHO・ユニセフの母乳育児成功のための10カ条のエビデンス」翻訳発行 目的・内容：母乳育児を成功させるための10カ条の実践にあたってのエビデンスを提示 対象：産科スタッフ及び、小児科医 開催（配布）数：2000部 効果：母乳育児を院内で広げるのに役立った。	18,19,24,51,52,54,55, 56,58,66	第13、14回母乳育児シンポジウム記録集発行、販売 目的・内容：シンポジウムの記録、および広報活動の一環として作成、会員配布、各地の母乳の会、関連学会において販売 対象：産科医、小児科、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般 開催（配布）予定数：約4000部

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
			18,19,24,51,52,54,55,56,58,66	「母乳と虫歯」小冊子、作成・販売 目的・内容:母乳育児継続のために、障害となっている事柄についての解説、母親支援、子育て不安の解消として解説 対象:産科医、小児科医、歯科医、保健師、助産師、看護師、他スタッフ、母親等母乳育児に関心のある一般市民 開催(配布)予定数:部数未定
財団法人 母子衛生研究会	1-4,7,19,29,31-33,35,42-46,50-53,58,63	「母子保健指導者研修会」開催 目的・内容:「健やか親子21」の課題をふまえ、地域母子保健活動の一層の向上を図る。 対象:保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者9,200名 開催(配布)数:46回開催(岐阜県を除く全都道府県) 効果:地域母子保健活動の向上に寄与できた。	1-4,7,19,29,31-33,35,42-46,50-53,58,63	母子保健指導者研修会」 目的・内容:保健、教育、福祉等の分野を越えた連携を図り、母子保健の諸問題への対応。 対象:保健師、助産師、看護師、保育士等母子保健関係者 5,000名 開催(配布)予定数:年間25回
	17-19,21	「母子保健教室」開催 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象:妊婦および家族 14,200名 開催(配布)数:81回開催(全国5大都市および近郊) 効果:妊娠・出産・育児に対する不安の軽減と自身を与えることができた。	17-19,21	「母子保健教室」 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発および最新情報の提供。 対象:妊婦および家族15,000名 開催(配布)予定数:年間82回
	17-21,28-39,41-44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」配布 目的・内容:妊婦に対する妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象:妊娠届出時に母子健康手帳副読本として妊婦130万人に配布 開催(配布)数:全国の市町村等を通じて130万部配布 効果:妊婦が妊娠・出産・育児に対する正しい知識を身につけることができた。	17-21,28-39,41-44,58	母子健康手帳副読本「赤ちゃん - そのしあわせのために」 目的・内容:妊娠・出産・育児についての正しい知識の普及啓発。 対象:妊娠届出の妊婦130万人 開催(配布)予定数:年間約130万部

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
社団法人 母子保健推進会議	15,19,50-55,59,61,66	<p>「平成17年度母子保健家族計画全国大会 - 健やか親子21全国大会」子どもの笑顔は未来へ遺産～育もう！かけがいのない命、地域の絆～</p> <p>目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、ならびに地域母子保健事業の推進を図る</p> <p>内容：功労者表彰、特別講演「修験道に学ぶ子育てのありよう」、シンポジウム「今こそ地域の母子保健システムの中に虐待予防を！」などを行った。</p> <p>対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等800名</p> <p>開催(配布)数：1回開催(奈良県)</p> <p>効果：講演、シンポジウムは参加者の資質の向上に、地域母子保健活動に功績のあった個人・団体への表彰は、本人、家族、仲間に多大な喜び、自信、意識の向上となった。</p>	9,10,15,19,33,34,35,39,43,44,50-58,60-63,66	<p>全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会</p> <p>目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつなげることを目的とする。</p> <p>内容：全国の母子保健推進員の活動報告</p> <p>対象：行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等150名</p> <p>開催(配布)予定数：1回開催(高知県)</p>
	15,19,31,33,34,35,39,43,44,50-58,60-63,66	<p>全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会</p> <p>目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、母子保健推進員の活動への理解を深め、子育て中の親の育児不安の軽減等へつなげる。</p> <p>内容：全国の母子保健推進員活動の報告等。</p> <p>対象：行政母子保健担当者、関係団体、母子保健推進員協議会代表等112名</p> <p>開催(配布)数：1回開催(奈良県)</p> <p>効果：母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場ともなった。</p>	2,3,9,10,15,19,50-55,59,63,66	<p>ブロック別母子保健事業研修会</p> <p>目的・内容：目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため、関係機関の連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。</p> <p>内容：母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、ピアカウンセリングと思春期保健、周産期からの子育て支援を目指して など</p> <p>対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名</p> <p>開催(配布)予定数：5ブロック6会場(北海道・福島県・茨城県・岐阜県・岡山県・宮崎県)</p>



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,19,26,50-55,59,63,65,66	<p>ブロック別母子保健事業研修会</p> <p>目的:「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。関係機関の連携を深め新しい知識を共有することを目的とする。</p> <p>内容:虐待予防、育児不安の軽減、思春期保健、周産期からの子育て支援などをテーマに講演、シンポジウムなど</p> <p>対象:保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計743名</p> <p>開催(配布)数:5会場で開催(北海道・栃木県・石川県・鳥取県・長崎県)</p> <p>効果:最新の情報を取得するとともに、近県の関係者が集まることで連携を深める機会</p>	2,3,9,10,15,19,34,39,50-55,58,63,66	<p>母子保健推進員研修会</p> <p>目的:市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容:虐待予防、育児不安の軽減、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告</p> <p>対象:母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名程度</p> <p>開催(配布)予定数:12回開催(山口県・佐賀県・富山県・長野県・松江市・群馬県・長崎県・熊本県・栃木県・高知県・宮城県・沖縄県)</p>
	17,19,31,34,35,43,44,51,52,55,58	<p>リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」・「元気に育てよう私の赤ちゃん」</p> <p>目的:母子保健推進員が妊婦や乳幼児のいる家庭を訪問する際の配布教材</p> <p>内容:妊娠中から乳幼児期の子どもの特徴、気をつけること等を記したB6判3ツ折のリーフレット</p> <p>対象:妊婦・乳幼児を持つ親</p> <p>開催(配布)数:各20,000部制作・配布</p> <p>効果:母子保健推進員等が家庭を訪問する際の配布物として母親に必要な情報の伝達する手段として活用されている。</p>	17,19,31,34,35,43,44,51,52,55,58	<p>リーフレット「丈夫な赤ちゃんを生み育てましょう」・「元気に育てよう私の赤ちゃん」</p> <p>目的:母子保健推進員が妊婦や乳幼児のいる家庭を訪問する際の配布教材</p> <p>内容:妊娠中から乳幼児期の子どもの特徴、気をつけること等を記したB6判3ツ折のリーフレット</p> <p>対象:妊婦・乳幼児を持つ親</p> <p>開催(配布)予定数:各20,000部作成配布</p>
	21,33,39,40	<p>ポスター「防げます！子どもの事故 - 周囲の大人のちょっとした工夫と習慣があなたのお子さんを守ります」</p> <p>目的及び内容:母子保健強調月間(10月)に併せ制作、母健連絡カードの利用促進と子どもの事故予防の啓発を図る</p> <p>対象:都道府県、政令市、中核市、関係団体</p> <p>開催(配布)数:10,000枚制作配布</p> <p>効果:子どもの事故予防と母健連絡カードの利用促進、意識の啓発につながる。</p>	21,33,39,40	<p>ポスター「防げます！子どもの事故 - 周囲の大人のちょっとした工夫と習慣があなたのお子さんを守ります」</p> <p>目的及び内容:母子保健強調月間(10月)に併せ制作、母健連絡カードの利用促進と子どもの事故予防の啓発を図る</p> <p>対象:都道府県、政令市、中核市、関係団体</p> <p>開催(配布)予定数:10,000枚制作配布</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,6,8,9,15,16,33,34,35,39,40,43,44,50-55,58,63,66	<p>組織育成費の助成</p> <p>目的：母子保健推進員組織の育成・支援、</p> <p>内容：県レベルの母子保健推進員組織がある7県に対し、各100,000円を助成</p> <p>対象：佐賀県、和歌山県、山口県、富山県、長野県、沖縄県、新潟県の各母子保健推進員協議会</p> <p>開催（配布）数：1回（7県）</p> <p>効果：県レベルの協議会設置の必要性は皆が認識しながらも予算の捻出が困難であることが多く、同育成費は、母子保健推進員活動を支える大きな力となっている。</p>	2,3,6,8,9,15,16,33-35,39,40,43,44,50-55,58,63,66	<p>組織育成費の助成</p> <p>目的：母子保健推進員組織の育成・支援、</p> <p>内容：県レベルの母子保健推進員組織がある2県に対し、各100,000円の助成を行う。</p> <p>対象：和歌山県、沖縄県の各母子保健推進員協議会</p> <p>開催（配布）予定数：1回（2県）</p>
	2,3,9,10,15,16,19,33,34,35,40,50-58,63,66	<p>地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行</p> <p>目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容：厚生労働省、専門職による情報提供、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。</p> <p>対象：都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行</p> <p>開催（配布）数：12回（毎月1回1日発行）</p> <p>効果：行政、専門職からの情報、地域における母子保健活動の実際を広く掲載し、毎号全国から多くの反響が寄せられている。</p>	2,3,9,10,15,16,19,33-35,40,50-58,63,66	<p>地域母子保健福祉情報紙 母推さん の発行</p> <p>目的：地域母子保健の普及、母子保健推進員の資質の向上を図る。</p> <p>内容：厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活動の実際、活動している人の声など。</p> <p>対象：都道府県・保健所・市町村・関係団体等毎月10,000部発行</p> <p>開催（配布）予定数：12回（毎月1回1日発行）</p>



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組みテーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組みテーマ	18年度の取り組み行動計画
日本糖尿病・妊娠学会	15	<p>満足できる妊娠・出産への支援            目的・内容：            ・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。            ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。            ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う。            対象：2005年11月25日、26日「第21回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会」開催、岡山コンベンションセンター、約260名参加(専門職対象)            開催(配布)数：1回開催            効果：糖尿病と妊娠に関する学理およびその応用の研究についての発表、知識の交換、会員相互の交流、情報等の提供、啓蒙活動を行うことにより、糖尿病およびこれに準ずる病態を有する妊婦の管理とその児の安全性確保等の進歩に成果をもたらした。</p>	15	<p>満足できる妊娠・出産への支援            目的・内容：            ・妊娠糖尿病に関するスクリーニングと妊娠糖尿病にかかった人の分娩後の糖尿病への進展率のフォローアップスタディ。            ・糖尿病妊婦から生まれた奇形児を少なくするため計画妊娠を励行させる。            ・特に我が国では若年者の糖尿病でも欧米と異なり2型糖尿病が多く、見逃されることが多いので、妊娠前から糖代謝異常のチェックを行う必要性を知ってもらう努力を行う。            対象：「第22回日本糖尿病・妊娠学会年次学術集会」開催、2006年11月24日、25日、日本都市センター会館、約400名参加予定            開催(配布)予定数：1回</p>
日本母乳哺育学会		<p>第20回日本母乳哺育学会学術集会 公開講演会『母乳育児から得たこと』            目的・内容：学会の2日午後を一般公開とし、実際に母乳哺育をおこなった母親の体験をもとに、市民と親との交流をはかり、育てる側にたった母乳育児支援について討論する。            対象：一般・保育関係者・小児科医・産科医・助産師・保健師等 約350名職種や、考え方の違いを越えて、母乳育児支援を力を合わせて行うことをめざす。            開催(配布)数：健やか親子21のパンフレットを配布する。シンポジウム:母乳育児支援を考える = 手をつなぎあった母乳育児運動</p>	18,58	<p>第21回母乳哺育学会抄録集及びポスター            目的・内容：母乳哺育推進と母乳のせいいた意義に関する研究活動として            対象：母乳哺育学会員と関連施設の関係者、延べ1,000名程度            開催(配布)予定数：年1回 約1,000部</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
全国母子保健推進員連絡協議会	19,50,51,52,53,54,55, 61,66	「平成17年度健やか親子21全国大会～子どもの笑顔は未来への遺産 育もう！かけがえのない命、地域の絆～」への後援 目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る 内容：功労賞表彰、特別講演「修験道に学ぶ 子育てのありよう」シンポジウム「今こそ地域の母子保健システムの中に虐待予防を！」 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等約800名 開催（配布）数：1回開催（奈良県） 効果：講演、シンポジウムは参加者の資質の向上に、地域母子保健活動に功績のあった個人・団体への表彰は、本人、家族、仲間に多大な喜び、自信となった。	2,3,9,10,15,51,52,53, 54	平成18年度健やか親子21全国大会 目的：健やか親子21の推進、母子保健知識の普及・啓発、地域母子保健事業の推進を図る。 内容：功労賞表彰、シンポジウム、講演 対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員等1,000名 開催（配布）予定数：1回開催（高知県）
	15,19,31,33,34,35,39, 43,44,50,51,52,53,54, 55,56,57,58,63,66	「全国母子保健推進員連絡協議会活動報告会」の開催 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、子育て中の親子に寄り添う母子保健推進員の活動への理解を深め、育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告、厚生労働省母子保健課長講評、情報交換 対象：行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表等112名 開催（配布）数：1回開催（奈良県） 効果：母子保健推進員活動の周知は子育て中の親子への支援につながるとともに、全国から関係者が集まることで意見交換の場ともなった。	9,10,15,19,33,35,39,4 3,33,50,51,52,53,54,5 5,56,58,66	全国母子保健推進員連絡協議会活動報告 目的：母子保健推進員の活動を周知することにより、母子保健推進員の活動への理解を深め、住民の育児不安の軽減へつながることを目的とする。 内容：全国の母子保健推進員の活動報告等 対象：行政母子保健担当者、母子保健推進員協議会代表、関係団体代表等150名 開催（配布）予定数：1回開催（高知県）

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,4,5,9,10,14,15,18,52,54,55,61	<p>「地区別母子保健事業研修会」への後援            目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため、関係機関への連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。            内容：母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、思春期保健、周産期からの子育て支援を目指して など            対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等743名            開催（配布）数：5会場で開催（北海道・栃木県・石川県・鳥取県・長崎県）            効果：母子保健に関する最新の情報を取得するとともに、近県の関係者が集まることで連携を深める機会</p>	2,3,9,10,15,19,50,51,52,54,55,59,63,66	<p>地区別母子保健事業研修会            目的：「健やか親子21」は各地域でそれぞれの特性を生かしながら推進されている。そのため、関係機関への連携を深め、新しい知識を共有することを目的とする。            内容：母子保健における虐待予防、育児不安の軽減、思春期保健、食育、周産期からの子育て支援を目指して            対象：保健師、助産師、自治体母子保健担当者、母子保健推進員、保育士等計約1,000名            開催（配布）数：5ブロック6会場（北海道、福島県、茨城県、岐阜県、岡山県、宮崎県）</p>
	2,3,9,10,15,19,34,50,51,52,53,54,55,63,66	<p>「母子保健推進員研修会」への後援・協力            目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質を図る。            内容：虐待予防、親と子のかかわり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告            対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,150名            開催（配布）数：11回開催（佐賀県、富山県、山口県、茨城県、岐阜県、鹿児島県、新潟県、熊本県、沖縄県、長野県、宮城県）            効果：母子保健推進員の資質の向上と母子保健推進員・保健師等の連携を深めることに寄与</p>	2,3,9,10,15,19,34,35,36,50,51,52,53,54,55,58,63,66	<p>母子保健推進員研修会            目的：市町村母子保健事業の促進と母子保健推進員の資質の向上を図る。            内容：虐待予防、親と子の関わり、思春期保健、母子歯科保健、食育などをテーマにした講演、シンポジウム、活動報告            対象：母子保健推進員、保健師、自治体母子保健担当者等4,000名程度            開催（配布）数：12回開催（山口県・佐賀県・富山県・長野県・松江市・群馬県・長崎県・熊本県・栃木県・高知県・宮城県・沖縄県）</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	2,3,9,10,15,16,19,33, 34,35,40,50,51,52,53, 54,55,56,57,58,6366	「地域母子保健福祉情報紙 母推さん-」の刊行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資 質の向上を図る。 内容:厚生労働省・専門職の頁、地域母子保健活 動の実際等。 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体など 開催(配布)数:年12回、月1万部発行 効果:母子保健推進会議に協力し制作した本紙は、 情報収集、アイデアの提供にもなり毎号全国から 多くの反響が寄せられている。	19,50,51,52,53,54,55, 56,57,5866	第4回子育てピア支援者養成セミナー 目的:地域で親子に寄り添い子育てをサポートする 母子保健推進員等を支援・養成する保健師等を養 成する。 内容:エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論 とスキルを実習中心に学ぶ。 対象:保健師、保育士、行政母子保健担当者30名 開催(配布)予定数:1回開催(八王子市)
	19,50,51,52,53,54,55, 56,57,58,66	「第2・3回子育てピア支援者養成セミナー」への後 援 目的:地域で親子に寄り添い子育てをサポートする 母子保健推進員等を支援・養成する保健師等を養 成する。 内容:エンカウンター、ピアカウンセリング等の理論 とスキルを実習中心に学ぶ。 対象:保健師、保育士、行政母子保健担当者等各 回約30名 開催(配布)数:2回開催(東京都八王子市、千葉県 船橋市) 効果:セミナー受講生自身本来の力を取り戻し、ま た各地域に戻り同様の研修会を実施、母親が自信 と元気を取り戻した等の報告が多く寄せられてい	2,3,9,10,15,16,19,33,3 4,35,40,50,51,52,53,5 4,55,56,57,58,63,66	地域母子保健福祉情報紙 母推さん-の発行 目的:地域母子保健の普及、母子保健推進員の資 質の向上を図る。 内容:厚生労働省、専門職の頁、地域母子保健活 動の実際、活動している人の声等 対象:都道府県・保健所・市町村・関係団体等へ毎 月10,000部発行 開催(配布)予定数:年12回(毎月1日発行)
日本不妊看護学会	24・26	第3回 日本不妊看護学会学術集会の開催 目的・内容:メインテーマ「不妊看護の専門性の追 求と発展」と題し会長講演「不妊治療によって妊娠し た女性への看護」およびシンポジウム「生殖医療に おける倫理的問題への対応」を行い、一般演題12 題の発表を行った。 対象:看護専門職者、医療関係者、看護学生を含 む169名の参加 開催(配布)数:年1回開催 千葉県:千葉大学 け やき会館 平成17年8月27日 効果:全国の不妊看護に携わっている看護者の連 携をとり、不妊看護の重要性や援助の方法、また、 現在の不妊看護における倫理的問題についての認 識を深めることができた。	24・26	第4回 日本不妊看護学会学術集会の開催 メインテーマ:社会に向けて発言しよう - 生殖医療 の現場とサポーター会長 講演:生殖医療の現場と認定看護師の活躍 特別講演:「認定看護師の活動の実際」「生殖医療 の現状と展望」他 一般演題 対象:看護専門職者および医療職者 開催(配布)予定数:平成18年9月3日(日)10:00 ~ 16:30 山梨大学 医学部講堂 山梨県中央市下 河東1110

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	24・26	<p>第2回実践不妊看護セミナー</p> <p>目的・内容：不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るために実施する。今回は、男性原因不妊カップルへの看護をテーマに、男性不妊の理解を深めた。</p> <p>対象：看護専門職者40名の参加</p> <p>開催（配布）数：年2回、兵庫県神戸市 流通科学大学8月6日開催聖路加看護大学21世紀COEプログラム共催</p> <p>効果：夫婦の不妊の問題や男性原因の不妊に対する治療時の心理や援助、夫婦カウンセリングの講義や事例検討により活発な討議を行うことで、男性不妊の看護援助のあり方を学習した。</p>	24・26	<p>第3回実践不妊看護セミナー</p> <p>目的・内容：不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るために実施する。</p> <p>対象：看護専門職者</p> <p>開催（配布）予定数：年1回 聖路加看護大学、8月            予定 聖路加看護大学 21世紀COEプログラム共催</p>
	24・26	<p>各地域で開催される不妊看護の勉強会の支援</p> <p>目的・内容：不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るために実施する。</p> <p>対象：看護専門職者</p> <p>開催（配布）数：年5回開催5月（島根県、北海道）、7月（群馬県）、9月（神奈川県）10月（愛知県）</p> <p>効果：各地域で開催することで、認定看護師等、不妊看護を専門とする看護者の相互の連携が深まり、対象者への看護援助の理解が深まり資質の向上につながった。</p>	24・26	<p>各地域で開催される不妊看護の勉強会の支援</p> <p>目的・内容：不妊看護の教育・研究の機会と場を提供することで、継続的な研鑽を図るための支援を行う。</p> <p>対象：看護専門職者</p> <p>開催（配布）予定数：各地域で行われる勉強会の支援</p>
	24・26	<p>不妊看護に関するニュースレターの発行</p> <p>目的・内容：学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う。</p> <p>対象：看護専門職者であり本学会員 約200発行</p> <p>開催（配布）数：年4回（6月、9月12月、3月）の発行</p> <p>効果：不妊に関する最新の情報提供が行われ、看護者の質の向上に向けた活動ができた。</p>	24・26	<p>不妊看護に関するニュースレターの発行</p> <p>目的・内容：学会員相互の連携を図り、学会員の募集や、勉強会やセミナー等の情報提供を行う。</p> <p>対象：看護専門職者で本学会員</p> <p>開催（配布）予定数：年4回、会員数分を配布予定</p>

**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
	24・26	日本不妊看護学会誌第2巻第1号の発行 目的・内容：不妊看護の教育・研究の成果を発表する機会を提供し、学会員のその成果を広めることで看護ケアの質の向上を図る。 対象：看護専門職者であり本学会員 約200発行 開催（配布）数：年1回 4月に発行 効果：学会員の不妊看護実践・研究成果を報告することで、看護ケアの質の向上に結びつき、さらに不妊看護者の自己研鑽のための意欲を引き出した。	24・26	日本不妊看護学会誌第3巻第1号の発行 目的・内容：不妊看護の教育・研究の成果を発表する機会を提供し、学会員のその成果を広めることで看護ケアの質の向上を図る。 対象：看護専門職者で本学会員 開催（配布）予定数：年1回、会員数分を配布予定
	24・25・26	看護ケア提供者のための相談業務（コンサルテーション）の開始 目的・内容：インターネットを通じて学会員が不妊看護を提供する上での困難な事例、生殖医療の知識、ジレンマ、看護の場の改善に関する相談を受けることで、看護ケアの質の向上をめざしている。 対象：本学会員 開催（配布）数：インターネット上で24時間受け付けている。相談4件述べ相談内容12件 効果：事例や生殖医療における知識的な内容に関する相談が増加し、不妊看護に関わる看護者の資質の向上に貢献した。	24・25・26	看護ケア提供者のための相談業務（コンサルテーション）の開始 目的・内容：インターネットを通じて学会員が不妊看護を提供する上での困難な事例、生殖医療の知識、ジレンマ、看護の場の改善に関する相談を受けることで、看護ケアの質の向上をめざしている。 対象：本学会員全員 開催（配布）予定数：インターネット上で随時受け付け中
			24・26	研究助成 目的・内容：不妊看護の実践に関する調査・研究を支援するために、会員を対象とし、研究費を助成し、不妊看護の発展を図る。 対象：看護専門職者で本学会員 開催（配布）予定数：1件5万円を限度に2件までの助成を開始する



**健やか親子21推進協議会・参加団体の行動計画（課題2）**  
**-妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保と不妊への支援-**

団体名	17年度の取り組み テーマ	17年度の取り組み実績	18年度の取り組み テーマ	18年度の取り組み行動計画
日本乳幼児精神保健研修研究会FOUR WINDS	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	第9回FOUR WINDS全国大会in宮崎 目的・内容:テーマは「周産期」。Stephen Malloch氏(オーストラリア)、渡辺久子(会員)他の講演を中心にした研修研究会。 対象:会員および非会員400名 開催(配布)数:1回 効果:人間の心の形成にとって胎児期、乳児期からの心の響き合いがいかに大切かを理解でき、この知識を各地域や職場で生かすことができた。	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	第10回FOUR WINDS全国大会in 浜松 目的・内容:テーマは「あまえ」フィンランド、タンペレ大学教授トゥーラ・タミネン氏、慶応大学渡辺久子(会員)の講演を中心にした研修研究会。 対象:会員および非会員 開催(配布)予定数:年1回
	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	FOUR WINDS乳幼児精神保健セミナー 第1回、第2回 目的・内容:事例を中心にした研究会 対象:会員および非会員各80名 開催(配布)数:2回 効果:事例を通じて、関係性障害について認識を深め、各地域や職場で知識を生かすことができた。	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	FOUR WINDS乳幼児精神保健セミナー 目的・内容:事例について検討、研修する。 対象:会員および非会員 開催(配布)予定数:年3回
	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	第9回全国大会報告集の発行 目的・内容:全国大会の内容をダイレクトにまとめて会員に報告する。 対象:会員 開催(配布)数:400部 効果:講演内容を全会員に伝え、認識を深めることができた。会員が各地域や職場で知識を生かし広めることができた。	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	FOUR WINDS全国大会講演記録集の発行 目的・内容:全国大会での講演内容を記録した冊子。参加者、会員に配布。 対象:会員380名 開催(配布)予定数:約1000部
	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	NEWS LETTER of FOUR WINDS の発行 目的・内容:世話人会開催後、決定事項を会員に知らせる 対象:会員 開催(配布)数:2回×380(会員数)760部 効果:会員に種々の最新の知識を伝え、時代を先取った活動を各地で行なうことができた	19,50,51,52,53,54,55,56,57,58,61,66,67	NEWS LETTER of FOUR WINDSの発行 目的・内容:世話人会で決定された内容を会員に知らせることを目的として発行。最新の知識を会員に知らせる。 対象:会員380名 開催(配布)予定数:(年2回発行)約760部